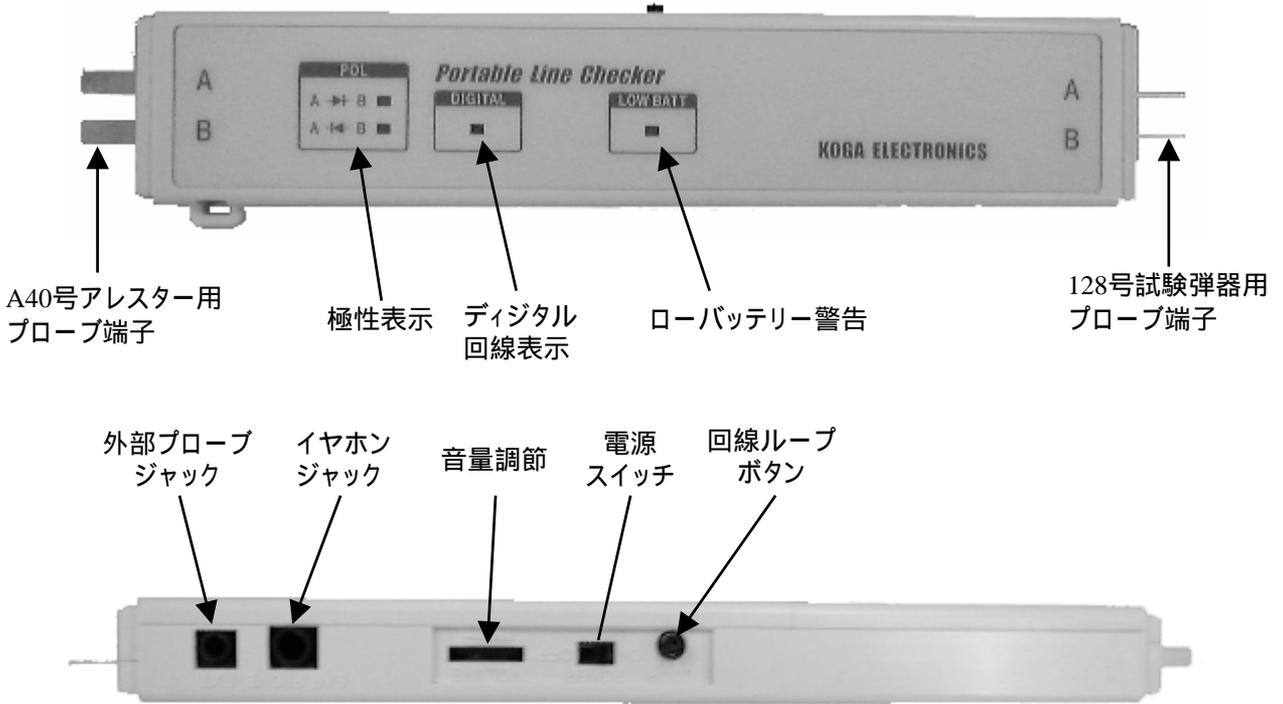


Portable Line Checker 取扱説明書

この度は、Portable Line Checkerをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

1. 各部の名称



2. 使用方法

1. まず側面の電源スイッチをオンにします。
2. 適切なプローブ端子 (付属の外部プローブ<わに口クリップ>をご利用の場合は外部プローブジャックにジャックを挿入して下さい) で被検査対象回線のL1, L2に接触させます。
3. イ. 被検査回線がアナログの場合
 - A. 極性表示のLEDのみが点灯します。上のLEDが点灯した場合は、Aが+、Bが-、下のLEDが点灯した場合はその逆の極性です。
 - B. 被検査回線がループ状態にある (使用中<話中>) 場合
極性表示は赤色に点灯します。また、内蔵のスピーカー (イヤホン使用時はイヤホンからのみ) にて通話内容をモニタできます。音量は本装置側面の音量調節つまみで好みの音量に調節してください。
 - C. ループしていないとき (使用中で無いとき) 場合
極性表示は緑色に点灯します。内蔵スピーカーやイヤホンからはノイズしか聞こえません。この状態のときにループさせてダイヤルトーン (DT)を確認したいとき、本装置側面の回線ループボタンを押して下さい。押している間だけ回線がループされ、内蔵スピーカーからDTが聞こえます。

ロ. 被検査回線がデジタルの場合

- A. 極性表示のLEDとデジタル回線表示LEDの2つのLEDが点灯します。極性に関するLEDはアナログの場合と同じです。
- B. 被検査回線がDSU等で終端されている場合
デジタル回線表示のLEDが赤色に点灯します。
- C. 被検査回線がDSU等で終端されていない場合
デジタル回線表示のLEDが緑色に点灯します。

被検査回線がデジタル回線の場合は内蔵スピーカーやイヤホンへの出力はありません。

ハ. LEDの色と回線状態の関係

		極性表示	デジタル表示
アナログ	ループ中	赤色点灯	点灯無
アナログ	ループ無し	緑色点灯	点灯無
デジタル	終端有	点灯*	赤または橙色点灯
デジタル	終端無	点灯*	緑色点灯

* デジタルの場合、極性は正確に判定しますが、極性表示LEDの発光色に意味はありません。

ニ. 電池交換

ローバッテリー警告が点灯したときは、電池が消耗していますので電池を交換してください。本装置は単4電池2本を使用します。

128号試験弾器側のキャップを外し、装置裏面の電池ボックスケースを強く押しながらプローブ端子側に引いて蓋を開け電池を交換します。

3. ご注意

1. 「衝撃厳禁」本装置は精密機器です。衝撃は故障の原因になります。
2. 本製品は電気通信事業者または電気通信事業者が指定した者が、電話設備の工事、保守、点検を行う際の補助装置です。これらの目的以外での使用はしないで下さい。
3. 使用しないときは電源を切ってください。電源を入れたままにしておくで電池の消耗が早くなります。
4. 使用しないときはプローブ端子にキャップをつけて下さい。端子を出したままにしておくで怪我をする可能性があります。
5. 本装置の電源は被試験回線とプローブを接触する前に入れてください。また、被試験回線とプローブが接触している最中は電源のオン、オフはしないで下さい。被試験回線にノイズが乗る場合があります。

製造元:

甲賀電子株式会社

〒520-3047 滋賀県栗東市手原5丁目8-10

TEL(077)552-5123 FAX(077)552-5121

E-mail: sales@koga.co.jp

Web Site: <http://www.koga.co.jp>